第６号議案

議題１　全国大会実施基準改定に関して

日連では、令和３年度春季代議員会においてプロジェクト発表会ならびに意見発表会の新分野(案)について提案し、承認されました。ついては、以下のとおり新分野を確定することとしたいので、ここに提案します。

　また、農業鑑定競技会実施基準における中項目・小項目の構成と出題範囲の方向性について、以下のとおり検討しましたので併せて提案します。

（１）プロジェクト発表会の新分野について

発表分野と内容

|  |  |
| --- | --- |
| 分　野 | 内　容 |
| Ⅰ類農業生産　農業経営 | １　農業生物の育成や生産性向上に関すること２　農業生産物の加工・流通・消費に関すること３　農業の経営や経済活動に関すること |
| Ⅱ類国土保全環境創造 | １　国土の保全や環境創造に関すること２　森林資源の活用に関すること |
| Ⅲ類資源活用地域振興 | １　園芸作物や社会動物の活用に関すること２　地域資源の活用や地域の振興に関すること |

（２）意見発表会の新分野について

発表分野と内容

|  |  |
| --- | --- |
| 分　野 | 内　容 |
| Ⅰ類農業生産　農業経営 | １　農業生物の育成や生産性向上に関する意見２　農業生産物の加工・流通・消費に関する意見３　農業の経営や経済活動に関する意見 |
| Ⅱ類国土保全環境創造 | １　国土の保全や環境創造に関する意見２　森林資源の活用に関する意見 |
| Ⅲ類資源活用地域振興 | １　園芸作物や社会動物の活用に関する意見２　地域資源の活用や地域の振興に関する意見 |

（３）農業鑑定競技会実施基準における中項目・小項目の構成と出題範囲の方向性について

１ 基本方針

　　新しい実施基準では、新学習指導要領における教科・農業の分野構成、現行基準下での諸課題等を

勘案し、分野を細分化したうえで大項目の編成を行った（下表参照）。中項目・小項目および出題範囲

の設定に向けては、「鑑定・判定・計算・測定・診断・審査技術に関する実力を競い合うことで職業的

な能力を高めることを目的とする」という現行基準の基本的な趣旨を引き継いだうえで、学習指導要領

の改訂のポイント等に照らし、出題内容が以下のいずれかの点を踏まえたものとなるよう留意しなが

ら取り組んでいくこととする。

（１）生徒のより「深い学び」を実現する内容であること

（２）社会で生きて働く知識・技能の習得に結び付く内容であること

（３）持続可能で多様な環境に対応した学習を充実させる内容であること

（４）農業経営のグローバル化・法人化・６次産業化等に対応した経営感覚の醸成を図る内容である

こと

 （５）安全・安心な食料の持続的な生産と供給に関する学習を充実させる内容であること

　　（６）地域資源の理解と活用に関する学習に関連した内容であること

新学習指導要領の教科「農業」における分野構成と農業鑑定競技会の分野および大項目（再掲）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 分野構成 | 分　野 | 大　項　目 |
| 基礎的な科目 | ０．共 通 | 農業と環境 |  |  |  |  |
| １．作 物 | 作 物 | 栽培と環境 | 農業経営 | 植物ﾊﾞｲｵﾃｸﾉﾛｼﾞｰ | 農業機械 |
| ２．野 菜 | 野 菜 | 栽培と環境 | 農業経営 | 植物ﾊﾞｲｵﾃｸﾉﾛｼﾞｰ | 農業機械 |
| ３．果 樹 | 果 樹 | 栽培と環境 | 農業経営 | 植物ﾊﾞｲｵﾃｸﾉﾛｼﾞｰ | 農業機械 |
| ４．草 花 | 草 花 | 栽培と環境 | 農業経営 | 植物ﾊﾞｲｵﾃｸﾉﾛｼﾞｰ | 農業機械 |
| ５．畜 産 | 畜 産 | 飼育と環境 | 農業経営 | 農業機械 | 食品製造 |
| 食品製造や食品流通 | ６．食 品 | 食品製造 | 食品化学 | 食品微生物 | 食品流通 |  |
| 国土保全や環境創造 | ７．森 林 | 森林科学 | 森林経営 | 林産物利用 | 測 量 |  |
| ８．農業土木 | 農業土木設計 | 農業土木施工 | 水循環 | 測 量 |  |
| ９．造 園 | 造園計画 | 造園施工管理 | 造園植栽 | 測 量 |  |
| 資源活用や地域振興 | 10. 生 活 | 生物活用 | 地域資源活用 | 食品製造 | 家庭基礎 |  |

２ 中項目・小項目の構成と出題範囲の設定の方向性について

　　　各分野における中項目・小項目ならびに出題範囲については、本競技会の目的を達成する上で

重要と考えられる項目を精選し、以下に示す取り扱い内容の中から設定することとする。

　　（１）分野０.共通

|  |  |
| --- | --- |
| 大項目 | 中項目・小項目および出題範囲の設定における取り扱い内容 |
| 農業と環境 | 暮らしと農業、農業生産の基礎、学校農業クラブ活動 |

（２）分野１.作物

|  |  |
| --- | --- |
| 大項目 | 中項目・小項目および出題範囲の設定における取り扱い内容 |
| 作　物 | 作物生産の役割と動向、作物の特性と栽培技術、作物の栽培と管理・評価、作物の生産と経営 |
| 栽培と環境 | 作物の学習と関連を持ち、作物に関する理解の質を高め、深い学びの実現に資する内容 |
| 農業経営 |
| 植物ﾊﾞｲｵﾃｸﾉﾛｼﾞｰ |
| 農業機械 |

（３）分野２.野菜

|  |  |
| --- | --- |
| 大項目 | 中項目・小項目および出題範囲の設定における取り扱い内容 |
| 野　菜 | 野菜生産の役割と動向、野菜の特性と栽培技術、野菜の栽培と管理・評価、野菜の生産と経営 |
| 栽培と環境 | 野菜の学習と関連を持ち、野菜に関する理解の質を高め、深い学びの実現に資する内容 |
| 農業経営 |
| 植物ﾊﾞｲｵﾃｸﾉﾛｼﾞｰ |
| 農業機械 |

（４）分野３.果樹

|  |  |
| --- | --- |
| 大項目 | 中項目・小項目および出題範囲の設定における取り扱い内容 |
| 果　樹 | 果樹生産の役割と動向、果樹の特性と栽培技術、果樹の栽培と管理・評価、果樹の生産と経営 |
| 栽培と環境 | 果樹の学習と関連を持ち、果樹に関する理解の質を高め、深い学びの実現に資する内容 |
| 農業経営 |
| 植物ﾊﾞｲｵﾃｸﾉﾛｼﾞｰ |
| 農業機械 |

（５）分野４.草花

|  |  |
| --- | --- |
| 大項目 | 中項目・小項目および出題範囲の設定における取り扱い内容 |
| 草　花 | 草花生産の役割と動向、草花の特性と栽培技術、草花の栽培と管理・評価、草花の生産と経営 |
| 栽培と環境 | 草花の学習と関連を持ち、草花に関する理解の質を高め、深い学びの実現に資する内容 |
| 農業経営 |
| 植物ﾊﾞｲｵﾃｸﾉﾛｼﾞｰ |
| 農業機械 |

（６）分野５.畜産

|  |  |
| --- | --- |
| 大項目 | 中項目・小項目および出題範囲の設定における取り扱い内容 |
| 畜　産 | 畜産の役割と動向、家畜の特性と飼育技術、家畜の飼育と管理・評価、畜産と経営 |
| 飼育と環境 | 畜産の学習と関連を持ち、畜産に関する理解の質を高め、深い学びの実現に資する内容 |
| 農業経営 |
| 農業機械 |
| 食品製造 |

　　（７）分野６.食品

|  |  |
| --- | --- |
| 大項目 | 中項目・小項目および出題範囲の設定における取り扱い内容 |
| 食品製造 | 食品産業の現状と動向、製造原理と原材料特性、食品の安全と品質表示、機械と装置の利用、生産工程の管理と改善 |
| 食品化学 | 食品の成分、食品の栄養、食品の成分分析 |
| 食品微生物 | 食品微生物の種類、食品微生物の実験、微生物利用の動向 |
| 食品流通 | 食と消費の動向、食品の流通・保管と物流、食品のマーケティング |

（８）分野７.森林

|  |  |
| --- | --- |
| 大項目 | 中項目・小項目および出題範囲の設定における取り扱い内容 |
| 森林科学 | 森林と樹木、森林生態系の構造と多面的機能、森林の機能と目標林型、森林の施業技術や管理技術、木材の収穫 |
| 森林経営 | 世界と日本の森林・林業、森林経営の目標と組織、森林の測定と評価、森林・林業の制度と政策、山地と農山村の保全 |
| 林産物利用 | 循環資源としての木材、林産業の概要、製材・加工と木工、木材の改良と成分の利用、特用林産物の生産と加工 |
| 測　量 | 森林の学習と関連を持ち、森林に関する理解の質を高め、深い学びの実現に資する内容 |

（９）分野８.農業土木

|  |  |
| --- | --- |
| 大項目 | 中項目・小項目および出題範囲の設定における取り扱い内容 |
| 農業土木設計 | 農業土木事業の計画と設計、水と土の性質、構造物の設計、農業土木構造物 |
| 農業土木施工 | 施工計画の基本、工事の管理、農業土木関係法規、農業土木工事の施工 |
| 水循環 | 水と地球環境、水と生活環境、水と農林業、農業水利、水資源の保全と活用 |
| 測　量 | 農業土木の学習と関連を持ち、農業土木に関する理解の質を高め、深い学びの実現に資する内容 |

　（10）分野９.造園

|  |  |
| --- | --- |
| 大項目 | 中項目・小項目および出題範囲の設定における取り扱い内容 |
| 造園計画 | 造園計画の意義と役割、環境と造園の様式、造園デザインと造園製図、造園の計画・設計、公園・緑地の計画・設計 |
| 造園施工管理 | 造園施工管理の意義と役割、造園材料の種類と特性、造園土木施工、施設施工管理、施工計画と工事の管理 |
| 造園植栽 | 造園植栽の意義と役割、植物材料の種類と特性、植栽計画、造園植栽施工、造園植栽管理 |
| 測　量 | 造園の学習と関連を持ち、造園に関する理解の質を高め、深い学びを実現する内容 |

　　（11）分野10.生活

|  |  |
| --- | --- |
| 大項目 | 中項目・小項目および出題範囲の設定における取り扱い内容 |
| 生物活用 | 生物活用の意義と役割、園芸作物の栽培と活用、社会動物の飼育と活用、生物を活用した療法 |
| 地域資源活用 | 農山村社会の変化と地域振興、地域資源活用の意義と役割、地域資源の価値と活用、地域と連携した活動 |
| 食品製造 | 生活の学習と関連を持ち、生活に関する理解の質を高め、深い学びを実現する内容 |
| 家庭基礎 | 人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住の生活の自立と設計、持続可能な消費生活・環境 |